



# みみよい

## なお知らせ!

みみの記念日 3月3日耳の日 6月6日補聴器の日 9月9日人工内耳

### 情報保障・観覧料割引等要望

### バルーン ミュージアム

10月1日に日本で初めてオープンする佐賀バルーンミュージアムに聴覚障害者への情報保障等が不十分だとして、9月27日佐賀市長あての要望書を古賀観光振興課長、蘭障害福祉課長らへ手渡しました。

**要望点** ・非常時の案内表示 ・シアター、気球の殿堂等での字幕表示 ・観覧料500円の障害者割引 ・事前の話し合いの場 等

佐賀市としては、要望事項について、すぐ出来るものや時間がかかるものについて種分けして対応したいと説明され、早速、障害者割引は実現しました。



### いのちのたび博物館 (北九州市) 社会参加促進事業



《この写真に注目》

晴天に恵まれ、初の県外視察で北九州市立いのちのたび博物館へバスハイク。

参加者はろう者、難聴者、関係者（手話通訳、要約筆記者等）含め24名。

博物館内は iPad や豊富な文字表示など視覚的な情報も多く聴覚に障害があっても十分に満喫できたとのことでした。昼食は門司港で焼きカレーを堪能し、その後関門連絡船で下関（唐戸）港へ。

楽しい一日で笑顔の花が咲きました。（9月26日）



### 初の原子力防災学習会



初めての学習会は唐津市民会館で行い31名が参加、唐津市危機管理防災課の篠原直人さんから放射能と放射線、避難計画、避難情報の伝達等について分かりやすく講演があり、質問も安定ヨソ剤や聴こえない人への避難指示、ベッドを避難所へ同行できるかなど多数ありました。

篠原さんは熊本地震で西原村の避難所へ派遣された経験から非常持ち出し品は「メガネ・入れ歯・マスクがベスト3」、避難所でのケンカの原因は「日頃自治会の仕事をしないで大きな口をたたく」が最多で日頃の地域での絆・つながりが大切です」と述べられました。1回の学習会ではなく、繰り返し学習するの必要を感じました。（9月25日）

佐賀県の原子力防災訓練が10月10日にあり、伊万里市の協会から5名と手話通訳者が参加、太良高校まで避難しました。

**非常持ち出しベスト3**  
**メガネ・入れ歯・マスク**



## 補聴器シリーズ⑦ ー補聴器の選定ー

今月は補聴器の機種選定についてのお話です。機種選定では使用目的（どこで、どんな場面で、何のために使いたいか）と聴こえ方はどうか（キンキン、ガンガン、ふわふわなど）について考えることが大切です。使用目的をはっきりさせることで補聴器のどの機能が必要かわかります。例えば、工場などの騒音が大きい場所と静かな事務所では騒音抑制機能の必要性がかわります。講義で使いたい時補聴器にあるマイクの指向性を前方に設定すると講師の声を拾いやすくなります。

聴こえ方については1対1の会話、複数人の会話、騒がしい場所での聞き取りなどをいろんな場面で試し不快でないか確認することが大切です。

価格について補聴器は大体4クラスに分けられます。基本価格（初めて使う方）3～9万円、普及価格11～20万円、高価格20～30万円、プレミアム価格31万円以上の補聴器です。同じ価格帯の補聴器でもメーカーにより性能や機能が異なります。気になる補聴器があれば試聴・貸出することで使用目的にあった補聴器かご自身で確認をすることが大切です。※価格は全て片耳補聴器の場合です。

### ー引用文献・参考文献ー

・よくわかる補聴器選び2016（監修/著 関谷芳正）・間違いだらけの補聴器選び（著者中村雅仁）



### 講座修了



### みみサポーター養成講座 (9月10日)

7月から全4回、講座中は活発に意見が出る場面もありました。4名が修了されて、「今後は職場で活かしていきたい」という感想が出ました。

### 手話通訳者養成講座Ⅰ・Ⅱ(9月25日)

4月10日から開講した各講座【通訳Ⅰ講座（全64時間）、通訳Ⅱ（全72時間）】が終わりました。修了生は、通訳Ⅰ・21名（100%）・通訳Ⅱ・17名（85%）修了生代表のあいさつでは、今後の目標、次のステップへの抱負や反省点などを述べられました。



### 要約筆記者養成講座(10月5日)

5月11日から全84時間の講義が修了、3名全員に皆勤賞の記念品が贈られた。「聴こえない、見えない、走れない人は大変な苦労がある。やがて私達も経験する時がくる。相手の立場に立って考え、行動する考え方を学んだ」と受講生は謝辞を述べ、うち一人は唐津のサークルに所属して、実践に立ち向かうと決意表明された。



勸興小3年生51名

来館(9月16日)

### <シリーズ要約筆記⑤>双方向

コミュニケーションにおいて伝わった「意味」とは、相手の反応で決まるといわれます。いくらこちらがことばを尽くして説明したと思っても、相手が理解していないと伝わったといえないということ。

以前、「話が途中で途切れてわからん」といわれたことがあります。どうやら助詞止めのことのようです。助詞止めが通じないのか、多用してしまったのかと反省しました。おたがいにコミュニケーションをとるために、理解する努力をしなければいけませんね。

### 字幕制作ボランティア(9月23日)

今期は3名の申し込みがあり、10月28日までの全6回の講座で字幕制作の基礎を学びます。

### 要約筆記(10月8日)

鳥栖市で開講、東部地区で初めての開催です。一人でも多くの方に参加してもらい、要約筆記者として活躍できるよう期待しています。

### 手話パフォーマンス甲子園視察雑感 (9月25日倉吉市)

今年の甲子園は佐賀から3校（うち2校をセンターが支援）挑戦するも、いずれも予選を通過することはできなかった。公表された予選結果をもとに、本選ではどのような演技・演出が行われるのか視察。

3年目ということもあり、演出は従来多かった劇や歌に限らず、サインダンス、ボディーパーカッションなどもあり、多様であった。多様故に単純に順位をつけられる（比較できる）ものなのか、予選3分間という短い審査で、本選8分間の演技に適しているかどうか、審査方法に疑問が残った。(清)

### 短信

- 吉富貞雄・吉富文代さん夫妻 県展 工芸部門入選
- 小都市ボランティア連絡会 15名来館(10月7日)
- 県新規採用職員研修 8月30日67名、9月6日52名 「聴覚障害(者)理解と簡単な手話」について研修を実施
- ろう者日曜教室「佐賀市の農水産品と販売所等の振興について」開催(10月2日)

■巡回きこえの相談 in 神埼千代田支所 11/16 10～15時  
要予約制で聴力測定、難聴者のピアカウンセリングを行います。聴こえに不安がある方が対象です。

## 佐賀県聴覚障害者サポートセンター

〒840-0826 佐賀市白山二丁目1-12 (佐賀商工ビル4階)

TEL: 0952-40-7700 FAX: 0952-40-7705

メールアドレス: info@saga-mimisapo.jp

ホームページアドレス: http://saga-mimisapo.jp/

### <開館時間>

9:30～18:00

9:30～20:00(水曜)

### <閉館日>

毎週月曜日、祝日